

## 新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第8回） 概要

日時：令和2年3月13日（金） 13時05分～13時35分

場所：農林水産省第1特別会議室

出席者：江藤大臣、伊東副大臣、加藤副大臣、河野政務官、藤木政務官、事務次官、農林水産審議官、官房長、総括審議官（国際）、危機管理・政策立案総括審議官、統計部管理課長、報道官、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁次長、水産庁長官、北海道農政事務所長、東北農政局長、北陸農政局長、関東農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長

内容：

### 1 本部長御発言（大臣）

皆さんの努力により、休校で行き場を失った学校給食、特に牛乳について、しっかりとした対応ができたと思っている。生産者の不安も相当程度払拭されたのではないかな。

無利子無担保の金融融資策も10日に発表したもので、現場への周知をお願いする。

今、我々全員の胸ポケットに花を刺しているが、花も消費拡大に努めていきたい。先程、JA全中の会長とも、協力して花の消費拡大に努めることで一致した。

今後、更なる対応策について検討を進めていく必要がある。これまでの常識に囚われず、現場を元気付けられるような政策立案をしていただきたい。

昨日から北海道に行かれている伊東副大臣には、事業継続計画のガイドラインを作成いただいた。伊東副大臣や本省から現地に派遣されていた5名の職員を含め、関係者の取組に感謝する。ガイドラインはお願いベースのものが多く書かれている。「できる限りマスクの着用をお願いします。」とガイドラインにあるが、マスクがない現場の事情も、十分踏まえなければならない。現場においては、マスクがない場合は十分に距離を取っていただくなどの工夫をお願いしたい。当省職員には、引き続き、現場との意見交換を欠かさないようにしていただきたい。

WHOが「パンデミックと言える。」と発表した。消費の現場や中食・外食への影響が懸念されるので、この週末もここにいる幹部職員には招集がかかるかもしれない。ここが正念場なので頑張っていこう。

— プレス退出 —

### 2 各業界への事業継続に関するガイドラインについて 危機管理・政策立案総括審議官より説明。

### 3 北海道現地対策本部御発言（伊東副大臣）

8日に現地対策本部を立ち上げた。大臣から速やかにガイドラインを作成するよう御指示があり、本日（13日）、発表できることとなった。現地対策本部を立ち上げるため本省から一緒に来てくれた5名、北海道農政事務所長をはじめ、関係者の協力に感謝する。現地対策本部を立ち上げた翌日には、北海道庁及び関係業界団体と意見交換を行った。本日（13日）午前中に改めて関係団体にガイドライン案文を示し、意見交換を行った。小規模事業者にも分かりやすい内容となっており、うまくまとまっているとの評価をいただいた。

本ガイドラインの作成に当たっては、現場の不安を払拭するため、食品を介して新型

コロナウイルスが感染することがないことをまずしっかり示すとともに、現場が見て分かりやすく、北海道で実行可能なものとするよう指示した。報道のとおり、北海道では昨日（12日）付けで128名の陽性患者が発生しており、全国で最も多い発生者数となっている。現地対策本部においては、ガイドラインが決定された後、再度、北海道庁や各団体の協力を得ながら、しっかりとガイドラインの周知に努めていただきたい。

### 3 農林水産省における影響と対応

食料産業局長、政策統括官、生産局長、林野庁次長、水産庁長官、経営局長、農政局から報告。

#### <江藤大臣>

マスク、消毒液について、政府の方針として、医療関係に重点的に配布することは正しいことだと思うが、食品が流通できなくなったときは、国民生活そのものがパニックになりかねない。国民の安全・安心を担保するため、関係機関に対し、食品産業にとってもマスク・消毒液は不可欠であることを強く発信してほしい。

地方農政局は、庁舎に花を飾ったり、販売促進を行ったり、ポスターを作成したりするなど非常によくやっていると思う。今こそ、農林水産省の底力を発揮するところなので、農林水産業や食品産業の生産基盤が崩壊することのないよう省全体で頑張っていこう。

#### <加藤副大臣>

現場の第一線にいる地方職員が一番の頼りである。本省は、地方農政局等からの情報・分析をしっかりと受け止め、大臣の御指示のもと、実行していかなければいけない。

#### <河野政務官>

感染が疑われる人が出た後、濃厚接触者の確定に時間を要する可能性があり、濃厚接触者と確定した後は、更に14日間、出勤停止になる。この期間をどう乗り切るかというのを現場はしっかりと考えておくべきだと思う。

#### <江藤大臣>

現場での労働力の確保について、JAと意見交換すべきではないか。

#### <藤木政務官>

JA全中との面談の機会に伝えておきたい。

#### <江藤大臣>

今後、更なる対応策について検討すること。

以上